

# ボールの特性レポート BALL REPORT



ボール名 <b>タンク・ランページパール</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.550</b>	△RG <b>0.020</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：タンク・ランページパール**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

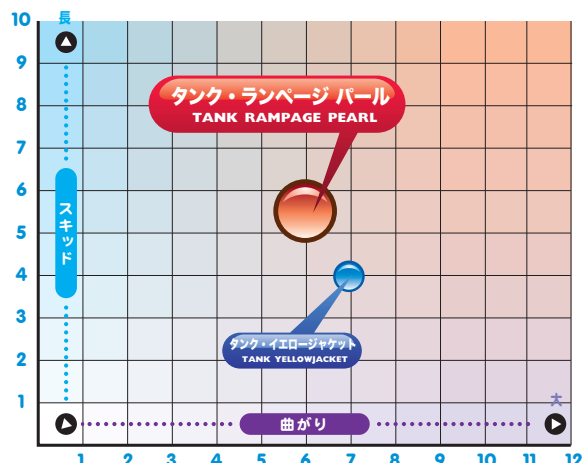
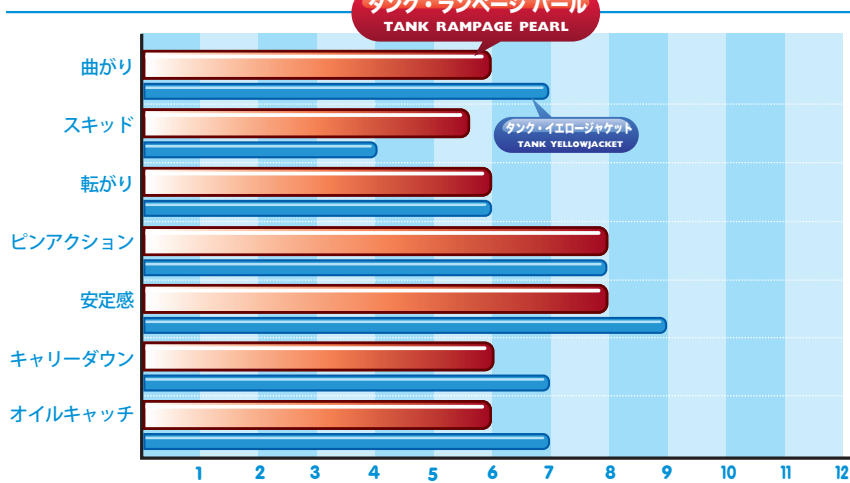
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：タンク・イエロージャケット**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



## ボールの評価

各社数多くのウレタン素材のボールが発売されてきましたが、PBAナショナルツアーとリージョナルツアーでは新基準に切り替わり、今までのウレタン素材のボールは使用できなくなりました。PBAツアー以外ではまだ使用可能ですが、今後は各社その基準に則ったボールを発売していくでしょう。

このタンク・ランページパールはその新基準に適合しており、性能はウレタンの要素を持ちながらMOTIV拘りの素材で作られているのが特徴です。パール素材を加えることで今までの素材よりも直進力を得ることができる次世代のフリクション M6 パールマイクロセル ポリマー カバーは、フロントエリアからミッドエリアまでの動きが非常にスムーズで、今までのウレタンボールよりも軽く走るイメージがあります。またデュラマックス添加剤を使用することで、表面の状態を摩擦や衝撃などのダメージから守り、長く保つことが可能です。ギアV2 コアは、一般的にウレタンボールに使用されているコアに比べ低いRGで作られていて、ミッドレーンでの安定感の狙いもあり採用されています。

ここ最近のマイクロセル ポリマーのカーバイドタンク、タンクイエロージャケットと比べても手前の走りはスムーズでより軽さを感じます。ブレーキのかかり具合も抑えられ、ミッドエリアの噛みあがりも素直でスムーズなので、幅を取らないライン取りと急激なドライエリアにも過剰反応をせずに軌道確保できるのではないかと思います。

## 特記事項

**ウレタンの新基準に適合した新しいタンク・ランページパールは、パール仕様にするだけでスムーズなスキッドと扱いやすい軌道をボウラーにもたらずでしょう。**